

# アドベンチャーレースを活用した 人材育成・組織開発のご支援

株式会社Real Discovery Outdoors

# アドベンチャーレース とは

- ・山、川、海、洞窟、ジャングル、砂漠、氷河などあらゆる自然を舞台に、男女混成のチームが協力して、主催者より与えられた地図とコンパス(方位磁石)を頼りにトレッキング、マウンテンバイク、パドリング、ロープワークなどの多様なアクティビティーをこなしながら、ゴールを目指すアウトドアのレース
- ・人間の体力、知力、精神力、適応力を駆使して自然と調和し、現代で失われつつある自然への畏敬の念を思い起こさせると共に、仲間との調和、自己を見つめ直す体験
- ・世界で真の「アドベンチャーレース」と言われる競技の条件
  - ✓ 男女混成の3~4人でのチーム構成
  - ✓ どの種目においてもナビゲーション能力が必須
  - ✓ タイムはスタートからゴールまでノンストップ(夜間行動もあり)
  - ✓ レース日程は3日間以上



# アウトドアスポーツを駆使してゴールを目指す究極の冒険レース

トレッキング・歩き・走り



キャニオニング・川歩き



クライミング・ロープワーク



カヤック・ラフティング



ナビゲーション・地図読み



マウンテンバイク



# アドベンチャーレースの特徴

3~4人一組のチーム！

進む道は  
自分たちで決める！

使えるのは、  
コンパス、地図のみ！

真のアドベンチャーレースは  
競技期間5日間以上！

食事・睡眠をいつどのように  
とるかもチームで決める！

体力・知力・精神力・チームワーク・  
人間性全てが試される！



# 他のスポーツとの比較

	アドベンチャーレース	トライアスロン	トラン	マラソン
距離	30-800km	50-226km	5~300km	42km
競技日数	1~10日以上	1日	1~3日	1日
競技種目	ラン、MTB、カヤック、ラフティング、ロープワーク、スイム、シュノーケリング、コースタリング、ケービングなど	スイム、ロードバイク、ラン	ラン	ラン
ルート	決まってない 道なき道を進む	決まってる 道を進む	決まってる 道を進む	決まってる 道を進む
地図読みナビゲーション	あり	なし	なし	なし
チーム性	男女混合3-4人チーム	個人	個人	個人
レース中のエイド、サポート	なし	あり	あり	あり
背負う装備の重さ	5-30kg	0kg	2-10kg	0kg

# 株式会社Real Discovery Outdoors

## ・人材育成／組織開発

- ・リーダー研修
- ・若手新人導入・継続研修
- ・オフサイトミーティング
- ・理念・ビジョン・目標浸透ワークショップ

## ・地域活性化／観光振興

- ・地域でのアドベンチャーレース等の開催
- ・アウトドアイベント(MTBレース、ロゲイニング等)の実施

## ・アドベンチャーレース／アウトドアイベント

- ・アドベンチャーレース実施運営
- ・アドベンチャーキッズキャンプ
- ・親子アウトドアチャレンジ など

## ・経営コンサルティング／Lean Six Sigma業務プロセス改善



© REAL DISCOVERY OUTDOORS



ウォーターチューピング



親子ハイキング



魚の捕り取り



野菜の収穫 & 作付け



クリスマスグリーティング

親子ワクワクハイキング

親子アウトドアチャレンジ  
大自然のかずら子で楽しく育れない、会話をしながら  
ふだん出来ない様々なアクティビティに挑戦!!  
学校の教科ではできない新鮮な体験が目白押しです。  
古希な親子の想い出になること間違いなし

詳細は  
裏面を  
RDO  
Real Discovery Outdoors inc.

# アドベンチャーレースによる人材育成・組織開発の特徴



インパクトある究極の体験で気付きを醸成し叩き込む



多様なメンバーとチームを組みゴールに向けて**迅速な意思決定**が求められる環境に身を置く



アドベンチャーレースに実際に参加することを通じて、ビジネスで必要なスキル・思考を体験学習ができる

# POINT 1 インパクトある究極の体験

## 決まった道のないレース

- ✓ 渡される地図にはチェックポイントの記載のみなので、決まった道はない。山道や道なき道、川の中、海などで行うことも可能。どういった道順で行くのかも知力を使い、チームとしての戦略次第。また、1日間レースにする場合5時間以上、40km以上のコース設定をされるため、極限まで体力を使う

## 必ずチームで意思決定をし、行動を決めていく

- ✓ チームは女性を含めた3-4人で構成され、どういう道で行くのか、遅い人をどうフォローするかなどはチームで決めていく必要がある

## 様々なアウトドアスポーツ

- ✓ トレッキング、キャニオニング、クライミング、カヤックなどパドリング、地図読み、マウンテンバイクなど様々な種類が用意され、チーム内でのサポートが必要となる

# POINT 2 迅速な意思決定

レースという性質上、また、自然環境のため、より迅速なコミュニケーション、意思決定が要求される。

## 意思決定が必要な状況

- ✓ どういった道を選ぶか、ルートプランニング
- ✓ 地図上で分かりづらい岐路での行先
- ✓ 道迷い
- ✓ 急な気候の変更
- ✓ 装備品の不足



# POINT 3 ビジネスで必要なスキル・思考

グローバルリーダー コアコンピテンス		アドベンチャーレースで必要な行動
チームマネジメント	リーダーシップ	<ol style="list-style-type: none"><li>ビジョンやゴールを示しながら、メンバーを鼓舞する</li><li>ゴールを達成するために必要なこと・行動を示す</li></ol>
	ファシリテーション	<ol style="list-style-type: none"><li>チームメンバーのレースへの参画を促し、意見を引き出す</li><li>決定について、メンバーが納得できるようそれぞれの意見を拾う</li></ol>
	チームビルディング	<ol style="list-style-type: none"><li>国籍、性別、体力の異なるメンバーをチームとしてまとめていく</li><li>緊張状態の中で分裂するチームを再度関係構築をしていく</li></ol>
タスクマネジメント	ディシジョンメイキング	<ol style="list-style-type: none"><li>どの戦略・ルートをとるかを最終決定をする</li><li>道に迷った時、怪我した時等の危機的状況で次の行動を決断する</li><li>レース前、中、後のあらゆる場面でチームが取るべき行動を決定する</li></ol>
	プロジェクトマネジメント	<ol style="list-style-type: none"><li>レースにおける目標を決め、資金・タイムラン・役割分担を管理する</li><li>ゴールを達成するために、ルートや食事などをプランし、遂行する</li></ol>
	リスクマネジメント	<ol style="list-style-type: none"><li>目標達成に向け、メンバーの体力・スキル・健康状態などを把握した上で、短距離だが危険な道を選ぶ</li><li>日没や閑門といった時間に対して、どうリスクをとるか考える</li></ol>
セルフマネジメント	コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"><li>緊張状態でもお互いの情況を理解するために対話する</li><li>モチベーションが低下したメンバーを鼓舞し、前に進ませる</li><li>自分の意見を明確にし、はっきりと伝える</li></ol>
	セルフコントロール	<ol style="list-style-type: none"><li>自分自身の身体的・精神的健康状態を常に把握する</li><li>自身も余裕のない状態でもメンバーをリードする</li><li>足が止まりそうな状況でも前に進む</li></ol>

# 3つの研修

## 【新人・若手向け研修】

アウトドア型実践新人・若手研修(1日間)

## 【リーダー向け研修】

アウトドア型リーダー研修(1日間)

## 【組織開発】

アウトドア型オフサイトミーティング(1日間)

※上記以外にアクセスのしやすい場所での屋外型のアウトドア研修(3時間～)や  
アドベンチャーレース経験を踏まえたリーダーシップの講演(1時間～)も可能

新人・若手向け

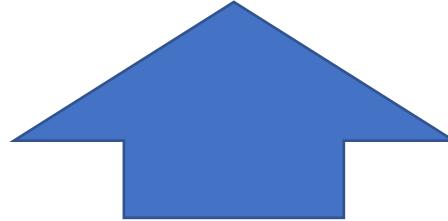
---

アウトドア型実践新人・若手研修

# 新入社員・若手社員についてお伺いする課題と対策

## 課題

- 素直で真面目だが、自ら考えて行動する姿勢が足りない
- 失敗したり、叱られるの苦手で傷つきやすい
- コミュニケーションが苦手で、自ら相談がなかなかできない



## 必要な考え方

- ゴール達成のためには、自ら考えて行動する必要がある
- 失敗しても、PDCAを回し、改善につながれば良い
- 報連相は自分のパフォーマンス向上に必要なアクションであると認識する

# 必要な考え方をアドベンチャーレースを通じて インプットする理由

- ・指示は与えられるのではなく、自分達の責任の中で自分たちで考えて決め実行する、実施結果(=成果)を受け止める
- ・過酷な環境でも前進し、また、振り返り改善する(PDCA)重要性を理解させる
- ・チームメンバー同士でのコミュニケーション(報連相)が、ゴール達成に影響を及ぼすこと体験を通じて認識をさせる

教室・講義型で頭で理解ではなく、

「アウトドア・実践型」インパクトをもって体感する



# アウトドア型実践新人・若手研修概要

**【日程】**1日(2日間以上の研修も相談可能)

**【参加者数】**4名～50名程度まで

**【目的】**インパクトあるアドベンチャーレース経験を通じて、新人・若手が必要とされる考え方、スキルを身に付ける

## 【期待される効果】

- ゴール達成のために、自ら考えて行動できるようになる
- 失敗を恐れて躊躇するのではなく、自らPDCAを回し、着実に遂行をする改善につながれば良い
- 報連相は自分のパフォーマンス向上に必要なアクションであると認識する
- つらい状況でも前に進む気持ちを持たせる

# アウトドア型実践新人・若手研修スケジュール

時間	項目	内容
10:00	オリエンテーション	研修の目的、進め方、目指すべきゴールを理解する
10:10	講義	新人・若手として必要な考え方についての基本的情報のインプット
10:30	ミニアドベンチャーレース①	必要な考え方ができていないことを認識させるため、ヒントを与えずにまずはレースをさせる
12:00	ゴールしたチームから昼休憩	
13:00	ミニアドベンチャーレース①振り返り	結果と必要な考え方ができていたかどうかを踏まえ、自分たちのチームの良かった点と改善点を振り返り、レース②へのプランを検討する
14:00	ミニアドベンチャーレース②	必要な考え方を活かすことで成果が上がることを体感する
15:30	ゴールしたチームから休憩	
16:00	ミニアドベンチャーレース②振り返り	レース①とレース②の比較から何が良かったかを整理させる
16:30	仕事への展開	レースでの気づきを仕事にどう活かすかを検討する
17:00	アクション宣言	各参加者それぞれに仕事へのアクションを発表させる
17:30	終了	※オプションで終了後 BBQなども実施可能

# ミニアドベンチャーレースの内容

## レースの内容

- ・レース時間としては90分程度
- ・全10か所のチェックポイントを3-5人のチームで回り、より早くゴールを目指す(①と②でチェックポイントを変更)
- ・総距離は3-5km
- ・どのようなルートを選ぶのか、どのような戦略でゴールするのかチーム戦略を立案する
- ・いくつかのチェックポイントではチームで工夫して、力を合わさないとクリア困難な課題を設定

## 参加者持ち物

- ・筆記用具
- ・運動ができる服装・靴
- ・飲み物
- ・飲み物を入れるためのリュック

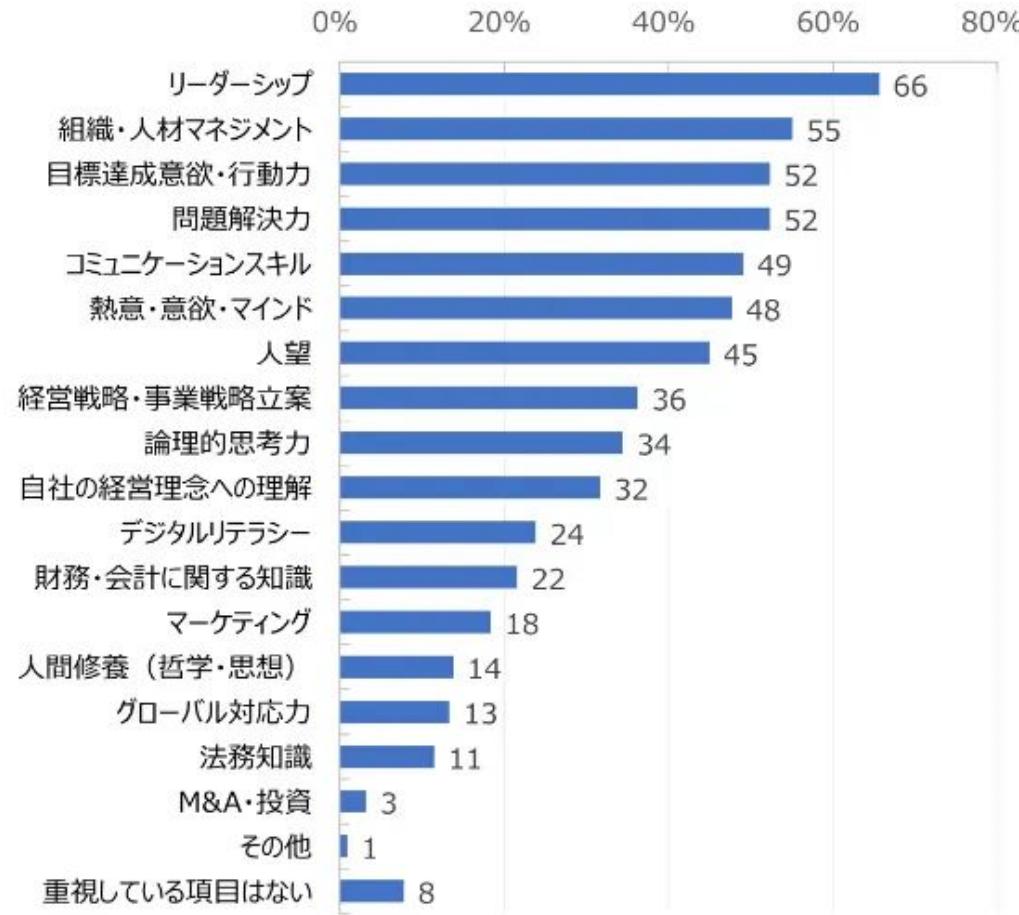
リーダー向け

---

アウトドア型リーダー研修

# リーダー育成に必要とされるスキル特性は多岐にわたる

## 次世代リーダー候補者のスキル・特性として重視すること



HR総研:「次世代リーダーの育成」に関するアンケートより抜粋

リーダーとして「これだけ長けていればよい」ではなく、必要なスキルや特性は多岐にわたり、またマインドなど必要なものが多い

# アドベンチャーレースを通じてリーダー育成を行う理由

- ・アドベンチャーレースに参加することで、リーダーとして必要なスキル・思考を網羅的に、その必要性を身をもって、学習することが可能
- ・ハードな環境の中での活動のため、素の状態になりやすく、現状の強みや限界を知ることができる
- ・リーダー(次世代リーダー候補)間での絆や共通体験を得ることができる

教室・集合形式ではない実践の中での学びをもって  
リーダーとして自身をレベルアップさせる



# アウトドア型リーダー研修概要

**【日程】**1日(2日間以上の研修も相談可能)

**【参加者数】**4名～20名程度まで

**【目的】**インパクトあるアドベンチャーレース経験を通じて、自身の強みや限界を理解し、またリーダーとしての必要なスキルを身に付ける

## 【期待される効果】

- ・ビジネス・自己成長/自己実現に必要なビジネススキル要件について、体感的に理解し、向上させることができる
- ・通常の研修や日常の仕事とは異なる非日常なハードな環境の中で、リスクをとりつつディジョンメイキングをすることができるようになる
- ・緊張感の高い中でも、メンバーの意見を引き出し、ゴールに向けてチームをまとめていくことができるようになる
- ・困難な状況の中でも、レジリエンスを発揮して、自分をコントロール、プロジェクトを前に進めていくことができるようになる

# 研修内で扱うリーダーとして必要なスキル・思考

グローバルリーダー コアコンピテンス		アドベンチャーレースで必要な行動
チームマネジメント	リーダーシップ	<ol style="list-style-type: none"><li>ビジョンやゴールを示しながら、メンバーを鼓舞する</li><li>ゴールを達成するために必要なこと・行動を示す</li></ol>
	ファシリテーション	<ol style="list-style-type: none"><li>チームメンバーのレースへの参画を促し、意見を引き出す</li><li>決定について、メンバーが納得できるようそれぞれの意見を拾う</li></ol>
	チームビルディング	<ol style="list-style-type: none"><li>国籍、性別、体力の異なるメンバーをチームとしてまとめていく</li><li>緊張状態の中で分裂するチームを再度関係構築をしていく</li></ol>
タスクマネジメント	ディシジョンメイキング	<ol style="list-style-type: none"><li>どの戦略・ルートをとるかを最終決定をする</li><li>道に迷った時、怪我した時等の危機的状況で次の行動を決断する</li><li>レース前、中、後のあらゆる場面でチームが取るべき行動を決定する</li></ol>
	プロジェクトマネジメント	<ol style="list-style-type: none"><li>レースにおける目標を決め、資金・タイムラン・役割分担を管理する</li><li>ゴールを達成するために、ルートや食事などをプランし、遂行する</li></ol>
	リスクマネジメント	<ol style="list-style-type: none"><li>目標達成に向け、メンバーの体力・スキル・健康状態などを把握した上で、短距離だが危険な道を選ぶ</li><li>日没や閑門といった時間に対して、どうリスクをとるか考える</li></ol>
セルフマネジメント	コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"><li>緊張状態でもお互いの情況を理解するために対話する</li><li>モチベーションが低下したメンバーを鼓舞し、前に進ませる</li><li>自分の意見を明確にし、はっきりと伝える</li></ol>
	セルフコントロール	<ol style="list-style-type: none"><li>自分自身の身体的・精神的健康状態を常に把握する</li><li>自身も余裕のない状態でもメンバーをリードする</li><li>足が止まりそうな状況でも前に進む</li></ol>

# アウトドア型リーダー研修スケジュール

時間	項目	内容
9:00	オリエンテーション	研修の目的、進め方、目指すべきゴールを理解する
9:10	ディスカバリーワーク	自分の強み・課題を理解する
9:30	リーダーとして必要とされるスキル・思考	リーダーとして必要とされるスキル・思考の説明 ※アドベンチャーレースと照らしながら紹介
9:50	ミニアドベンチャーレース プランニング	リーダーとして必要とされるスキル・思考をレースでどう発揮するかプランニングする／チームとしての目標を設定し、レースをプランする
10:30	ミニアドベンチャーレース 実施	チーム対抗型でレースを行う ※昼食もチームで判断をして摂取する
14:00	休憩及びバッファ	
14:30	ミニアドベンチャーレース 振り返り	レース結果と必要なスキルの観点から振り返りを行う チームメンバーからのフィードバックを得る
16:00	仕事への展開	レースでの気づきを仕事にどう活かすかを検討する
17:00	アクション宣言	各参加者それぞれに仕事へのアクションを発表させる
17:30	終了	※オプションで終了後 BBQなども実施可能

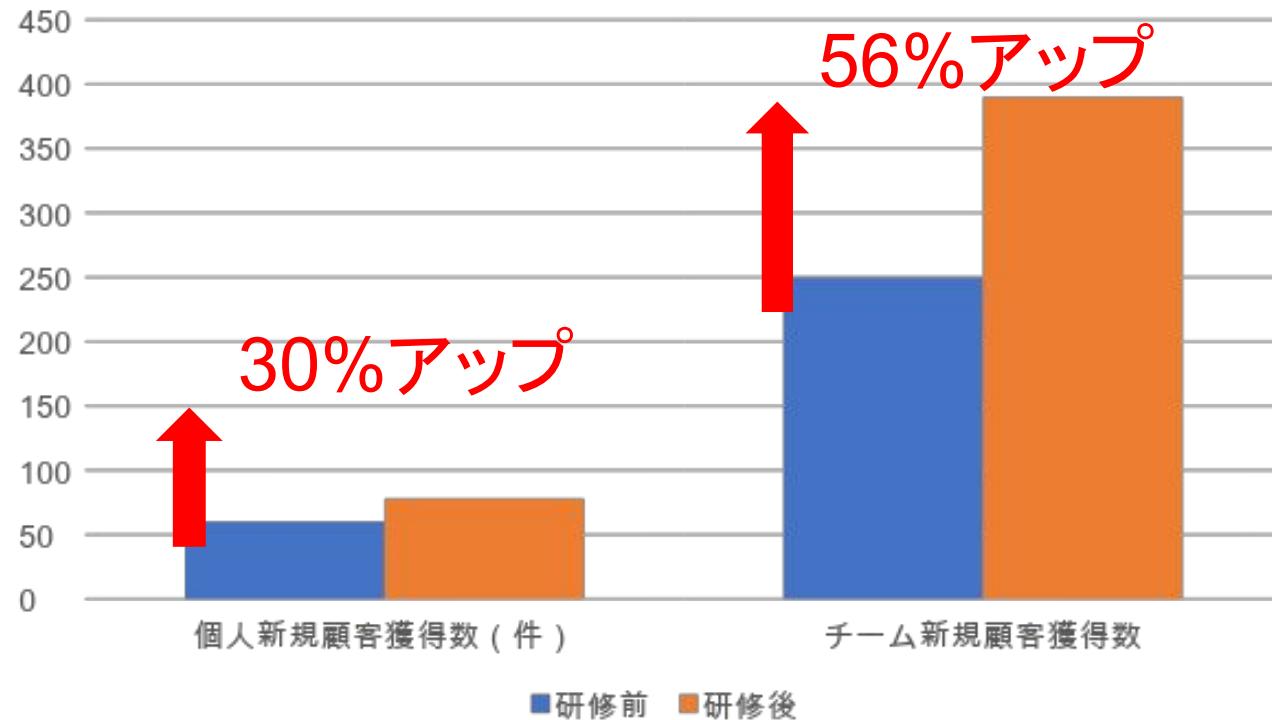
# 実績からの具体例

《製造・サービス業》

参加者：部下20人の営業職プレイングマネージャー

個人成績だけでなく、チーム全体の成績が上がった。

→研修後、リーダーとして部下の能力を引き出し、チーム育成に成功した



# 組織開発

---

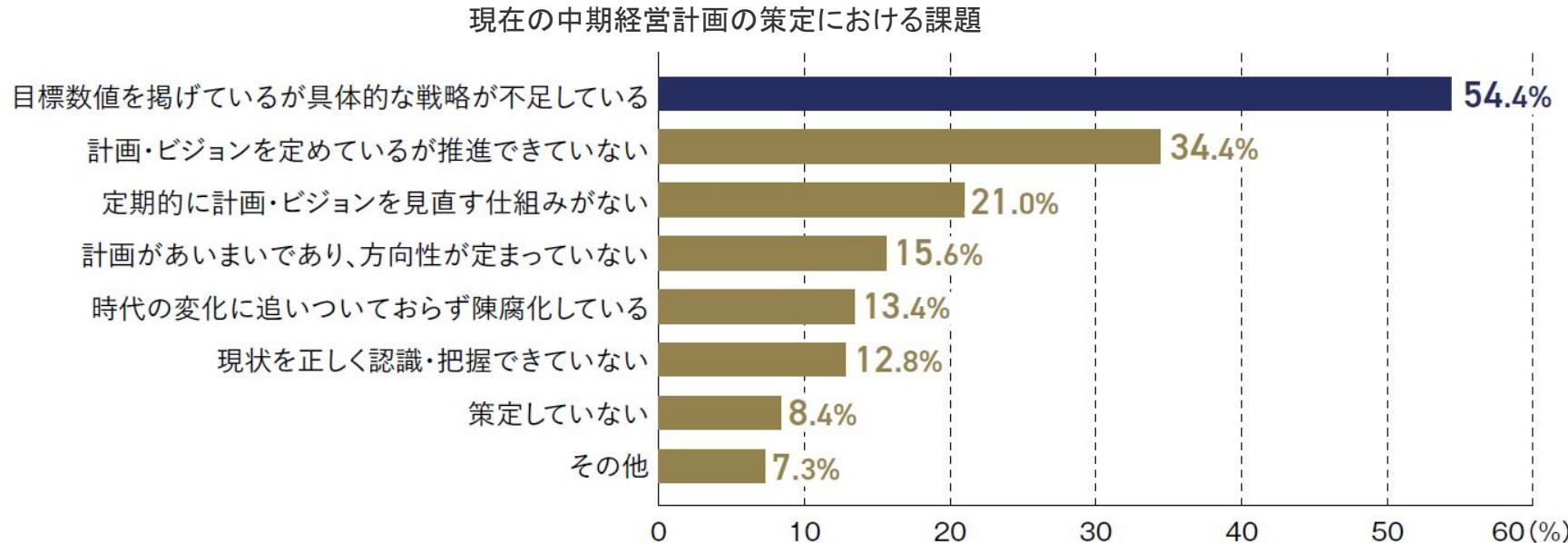
## アウトドア型オフサイトミーティング

# 組織の戦略策定、パーカス浸透におけるキーワード

- ・対話
- ・パーカスと目標・業績の連動
- ・パーカスと個人個人の働き甲斐との連動
- ・パーカスは意思決定・判断するための指針
- ・パーカスを日常業務に転換する
- ・トップダウンとボトムアップのバランス
- ・あるべきではなく、自分たちがありたい姿が明確か？パーカス、ビジョン、ミッションなど企業理念は明確か？など現状の認識確認
- ・組織の状態を正しく把握する
- ・社員の納得感は？
- ・中間管理職、マネージャーが経緯層と同じ目線で語れるか？
- ・社内の人材の戦力、ポートフォリオを把握する

# 組織の戦略策定における課題

タナベコンサルティング2023年度企業経営に関するアンケートより

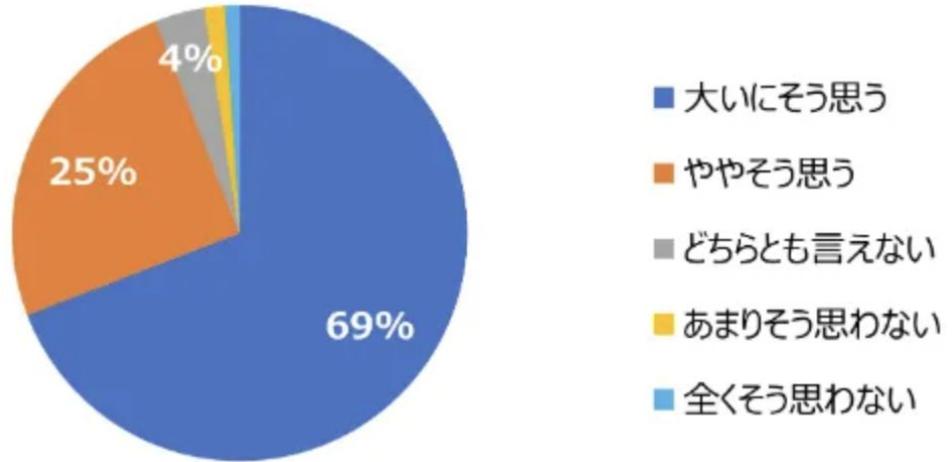


- ・戦略が不足(トップダウンが弱い)
- ・推進できない(トップダウンだけでなく、ボトムアップも弱い)

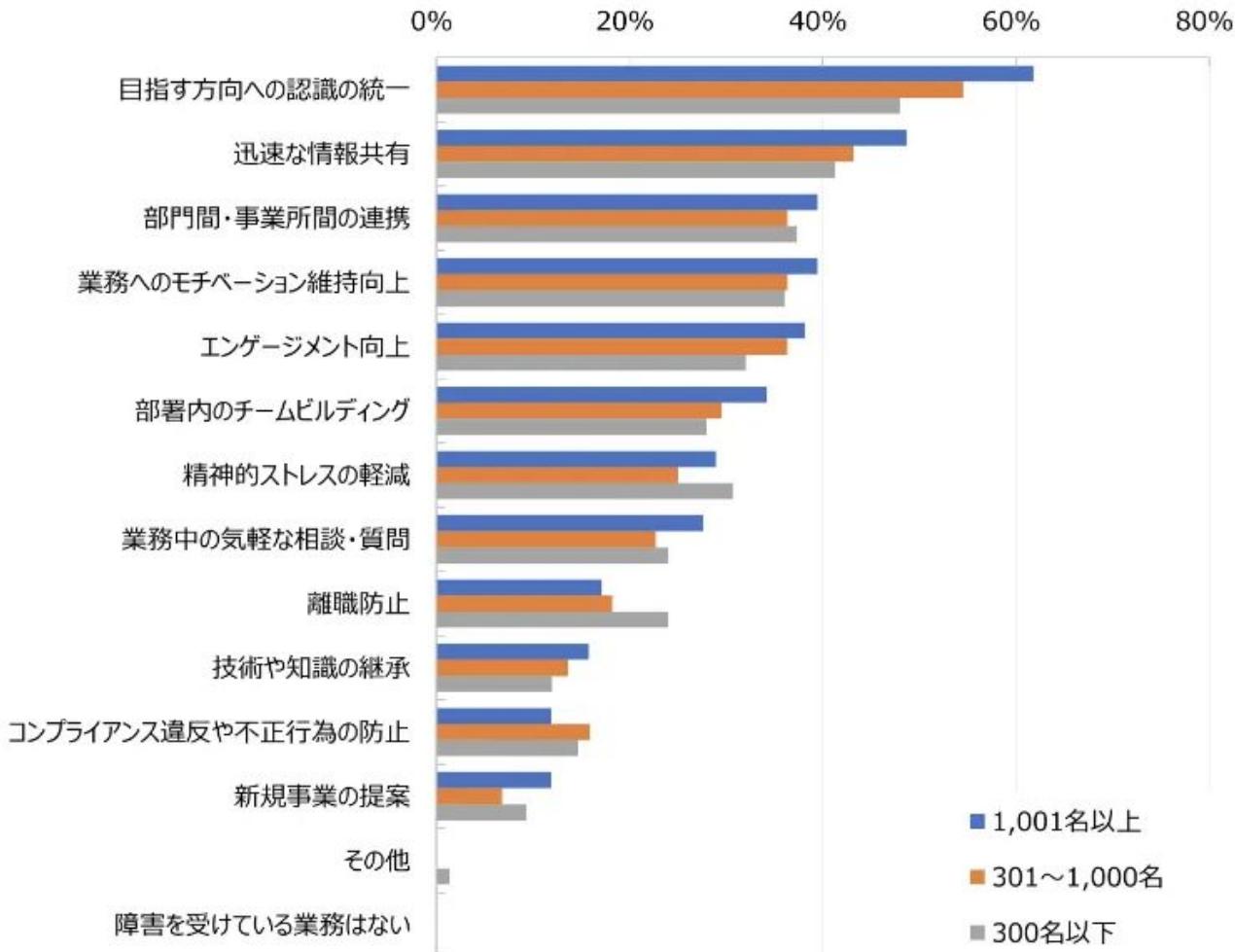
トップからの一方通行で、社員の意見やアイディアをくみ取らない数値目標が社員個人に落ちてくるだけで、モチベーションが低下、組織力が低下する。

# 社員間のコミュニケーション不足は、 目指す方向への認識の統一の障害になる

社員間のコミュニケーション不足は業務の障害になると思うか



最も課題がある関係間でのコミュニケーション不全による業務の障害



HR総研: [社内コミュニケーションに関するアンケート2023](#)より抜粋

# アウトドア型オフサイトミーティングでの課題解決

- ・経営者・従業員含めて社内コミュニケーションを促進する
- ・パーパス・戦略の意義、立て方、また逐一見直すことの重要性を認識させる
- ・アウトドア環境の中で、チームとして力を合わせて目標を達成するための戦略作成の必要性や、そのためのポイントを理解させる
- ・アクティビティからの学びをベースに、自部門のパーパス、戦略の策定・浸透・推進のための課題分析を行うとともに、今後の具体的な行動を計画する



体験をベースに実ビジネスの課題解決に繋げる

# アウトドア型オフサイトミーティング概要

【日程】1日(2日間以上の研修も相談可能)

【参加者数】10～30名程度

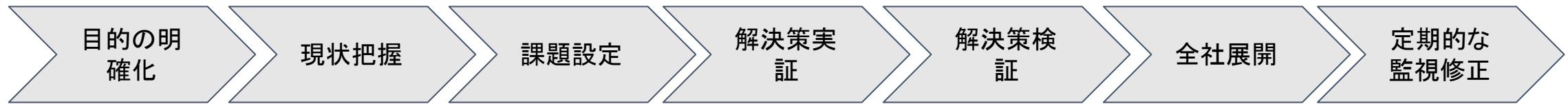
【目的】チームビルディングを行った上で、部門全体・会社全体など組織における方向性を共有し、統一する

【期待される効果】

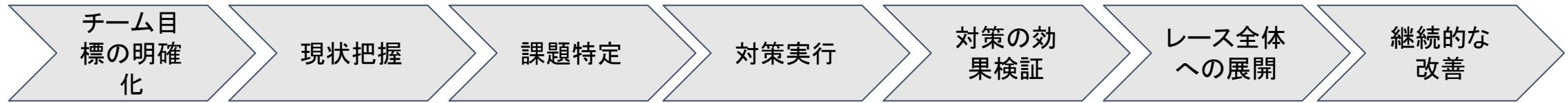
- ・立場の上下、組織の壁を越えたコミュニケーションを促進する
- ・チームワーク、モチベーションを高める
- ・組織(会社、部門)の目標を全参加者に共有して、同じ方向を向いて業務するきっかけを作る
- ・組織が抱える問題をボトムアップ、トップダウンの双方向で共有して、問題に対する的確な対応策を作成する

# アウトドア型オフサイトミーティング 組織開発の進め方・ポイント

## 組織開発の進め方の一例



## アドベンチャーレースでの共通点



アドベンチャーレースの進め方・ポイントが組織開発の進め方・ポイントに酷似しているため、アドベンチャーレースにて模擬体験ができる

# アウトドア型オフサイトミーティングスケジュール

時間	項目	内容
9:00	オリエンテーション	社長、部門長の想い、本イベントの目的と期待する成果物を共有する
9:15	企業理念・パーカスの共有	社長、部門長から企業理念・パーカスを共有する ・社員からの質疑応答タイム
10:00	組織運営体験:ミニアドベンチャーレース プラニング	内容説明を受けた後、チームに分かれて、ミニレースに向けたパーカス、目標、戦略を作成する
10:30	組織運営体験:ミニアドベンチャーレース実施	チーム対抗型でレースを行う
12:30	ゴールしたチームから昼食	
14:00	組織運営体験:ミニアドベンチャーレース振り返り	ミニアドベンチャーレースを通じて得られた組織運営における課題抽出や実行の重要なポイントを振り返る
15:00	課題抽出グループワーク	ワールドカフェ形式グループワークで企業理念・パーカスを達成するために抱える課題を抽出する
16:00	実行計画立案グループワーク	ワールドカフェ形式グループワークで課題を解決するための実行計画を立案する
17:00	社長・部門長・社員からのコミット	グループワークの内容を受けて、今後の組織改革へ具体的な道筋を示すとともに、コミットすることを宣言する
17:30	終了	※オプションで終了後 BBQなども実施可能

# 今後に向けて

---

まずはどんなことでもお困り事、相談事などを伺いますのでお声がけください

# 研修実施までの流れ

No	内容	目安の時期
1	サービス提供のご依頼	Day0
2	事前打ち合わせ1	Week 1~4
3	プログラムのカスタマイズ	Week 5~8
4	事前打ち合わせ2	Week 9~10
5	研修実施	Week 11
6	事後打ち合わせ	Week 12

※時期は目安なので、事前打ち合わせ1にてご希望をお伺いします。

# お問い合わせ連絡先

『アドベンチャーレースで世界を元気に！  
自然と人が共存する豊かな世界へ』

株式会社Real Discovery Outdoors  
代表取締役社長 小澤 郷司

住所 ; 〒160-0011  
東京都新宿区若葉2-5-5

電話 ; 070-5543-2772

電子メール ; [goshi.ozawa@r-d-o.jp](mailto:goshi.ozawa@r-d-o.jp)